

組み立て上の注意

- 組み立てる前に、必ずこの取扱説明書をよく読み「組み立て方」に従って正しく組み立ててください。
- 組み立てる前に、部品が揃っているか確認してください。
- 組み立てる時に、部品などを幼児や子供の手の届く場所に放置しないでください。
- 組み立てる時に、部品の端部などで指を怪我したり、指を挟まないように充分注意してください。
- 部品に破損や不具合などがある場合は、そのまま使用せず、弊社お客様相談室まで連絡してください。
- 組み立ては、水平で平らな場所で行なってください。また、床面がキズつかないようにダンボールなどを敷いて行なってください。
- 電動ドライバーなど電動工具の使用はお止めください。
- 設置する場所の近くで組み立てることをおすすめします。
- 本製品は、2人以上で組み立てることをおすすめします。

使用上の注意

- 本製品は屋内専用です。屋外での使用はお止めください。また本来の用途以外での使用はお止めください。
- 各部がしっかり組み立てられていることを確認した上で使用してください。組み立てが不十分なまま使用すると非常に危険です。
- 水平でない場所・段差のある場所・不安定な場所での使用はお止めください。
- ストーブなど熱機器や火気のそばでの使用はお止めください。
- 高温多湿な場所での使用はお止めください。
- 直射日光など紫外線があたる場所での使用はお止めください。
- フローリングなどキズが付きやすい床面を使用する場合、敷物などを敷いて床面を保護してください。
- じゅうたんや畳などやわらかい床では荷重で沈んだり跡がつくことがあるため、敷物や当て板を敷いてください。
- クッションフロア材（塩化ビニル樹脂）の上に本製品を設置して、長時間置いたり、紫外線や高温にさらすと、色移りで表面が変色する場合があります。
- ものをのせる時は、荷重が一点に集中しないように均等にのせてください。また、耐荷重を超えるものをのせないでください。
- 加熱したなべ・湯沸かし・熱湯の入ったコップなどを直接置かないでください。
- 湿ったものや濡れたものを置いた後は、水分を放置せずすぐに拭取ってください。
- 本体によりかかったり、のぼったりすることはお止めください。また、本体に手をついたり、つかまって立ち上がりしないでください。特に幼児や子供には注意してください。
- 開梱時に、においが気になる場合は部屋の換気をしたり、風通しの良いところにしばらく置いてから使用してください。
- 使用中に、破損・変形・異音などの異常が生じた場合はただちに使用をお止めください。

取り付け上の注意

- 本製品の固定ピンは石膏ボード(9mm以上)、ベニヤ板(5mm以上)の壁専用です。上記以外の壁、場所及び穴有り吸音ボードには取り付けしないでください。
- 固定ピンを手などに刺さないように注意してください。
- 固定ピンは取り付け部3箇所のピン穴全部に最後まで打ち込んでください。
- 同じ箇所へ固定ピンを差し込まないでください。十分な強度で取り付けができなくなります。
- 本製品表面の塗装に関しては、取り付け場所の素材により、長時間の接触によって壁材などに色移りすることがあります。色移りの懸念をされる場合には、接触面に薄紙をはさむなどご対応ください。
- 賃貸などのお部屋での取り付けはご自身の責任の範囲にて取り付けてください。

お手入れの方法

- 定期的に各部がゆるんでいないか点検してください。また、固定ピンやねじがゆるんでいないか定期的に点検し、ゆるみはじめてからしっかりとめ直してください。本体の固定がゆるくなった場合には、場所を替えて取り付けしてください。
- 汚れた場合は、乾いたやわらかい布で拭いてください。また、汚れがひどい時は、やわらかい布に薄めた中性洗剤をしみ込ませ、それを固くしぼったもので汚れを落としてください。その後、もう一度乾いたやわらかい布で拭いて水分を取り除いてください。
- ベンジン・シンナー・アルコール・磨き粉などの使用はお止めください。表面のはがれや変色の原因になります。また、化学雑巾やクリーナーなど化学薬品を含むものを使用する時は、その注意書きに従ってください。



電動ドライバーなど、**電動工具の使用はお止めください。**
部品の**変形や破損の原因**になります。**組み立てる時やねじの締め直しをする時は、必ず手動の工具を使用してください。**

本製品は、ねじやピンなどを用いて連結している商品です。使用を続けてゆく中でゆるみが発生する場合があります。
ゆるみが発生している状態で使用していると、**連結部がおれたりはずれたりする原因**になります。
安全に使用していただくために、**定期的な点検**をお願いします。

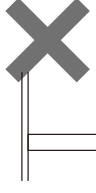
※下記の行為はしないでください。棚全体が外れてものをこわしたり、ケガをしたり、壁がこわれたりして危険です。



●可動棚の前側に荷重をかけることはお止めください。棚が動き危険です。



●貴重品やこわれやすいものをのせないでください。



●片寄ってものをのせないでください。



●よりかかったり、のぼったりしないでください。特にペットや子供には気をつけてください。



●よりかかったり、のぼったりしないでください。特にペットや子供には気をつけてください。



株式会社ドウシシャ

お客様相談室

〒140-0011 東京都品川区東大井1-8-10

0120-104-481

【受付時間 9:00～17:00 祝日以外の月～金】

※商品名・品番をご確認の上、お電話ください。
※電話の際にお話し頂く情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、予めご了承ください。

ドウシシャ

検索

MADE IN CHINA

Lot No.

天井に突っ張らない薄型壁付けラック9段(30W/50W)

取扱説明書

この度は、弊社製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をお読みください。
尚、お読みになられた後もいつでも見られるように大切に保存してください。

品 番	組み立てサイズ (cm)			耐荷重(kg)*	
	幅	奥 行	高 さ	棚	全 体
TEH30	(約) 30	(約) 13	(約) 190	10	90
TEH50	(約) 51				

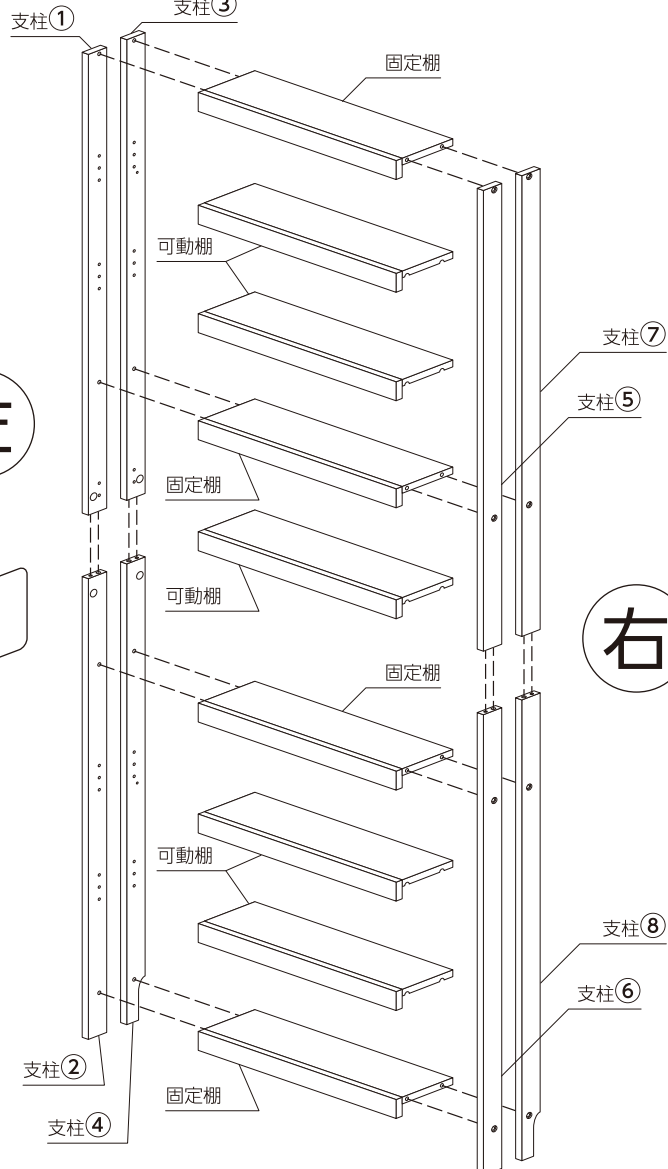
※耐荷重は、均等荷重をかけた場合の測定値であり、保証する値ではありません。

内容明細

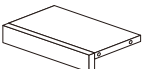
内容物を下記の明細に照らし合わせて、組み立てる前にご確認ください。

△ 注 意

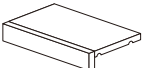
それぞれの支柱には内側の上の方に番号が貼ってあります。



イラストは幅51cmです。幅30cmは固定棚・稼働棚の幅が狭くなる以外は幅51cmと同じです。

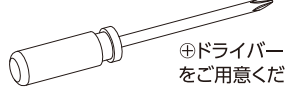


幅30cm用の固定棚

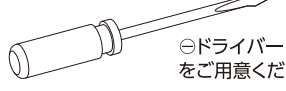


幅30cm用の可動棚

必要な工具



⊕ドライバー
をご用意ください。



⊖ドライバー
をご用意ください。

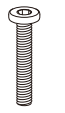
石膏ボードの壁に固定する場合に必要です。

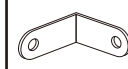


ハンマー
をご用意ください。



コイン
をご用意ください。

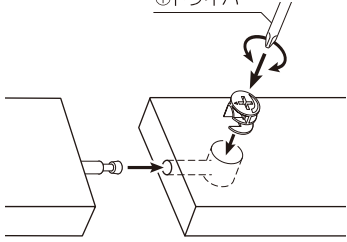
本体の組み立てに必要な部品						シール・工具など					
部品名	連結ナット	ねじ	両頭連結シャフト	カムロック	木ダボ(大)	木ダボ(小)	クッションシール(大)	クッションシール(小)	目隠しシール(大)	目隠しシール(小)	六角レンチ
部品図											
数 量	16+(予備1)	16+(予備1)	4	8+(予備1)	4	20+(予備5)	2	2	8	32	1

壁の取り付けに必要な部品					
部品名	金具	固定部品	ピン	木ねじ(長)	木ねじ(短)
部品図					
数 量	4	4+(予備1)	12+(予備4)	4+(予備1)	4+(予備1)

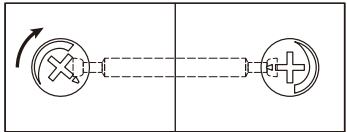
両頭連結シャフトとカムロックの取付け方

作業する時は、必ず横に倒して行ってください。

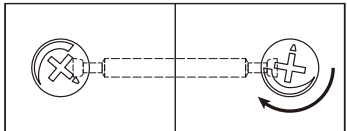
両頭連結シャフトを挿し込み、矢印が両頭連結シャフトに向かうようカムロックをはめ込みます。



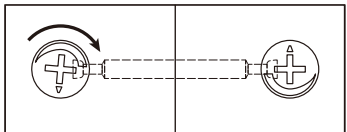
①片方のカムロックを少し回して両頭連結シャフトに引っ掛ける。



②反対側のカムロックをかたくなるまで締め付けます。



③最初に回した方のカムロックをかたくなるまで締め付けます。

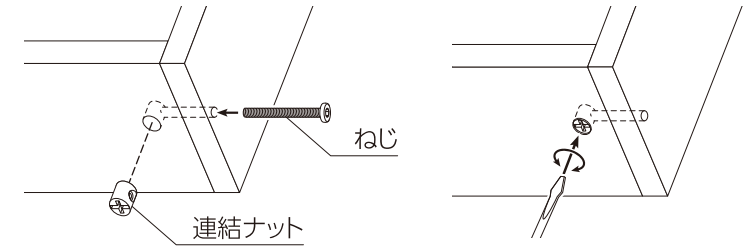


※最後にしっかり連結されていることを確認してください。

矢印を両頭連結シャフトに向ける。

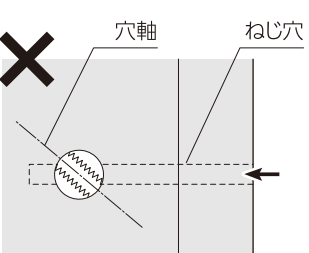
連結ナットの調節方法

連結ナットの下穴に連結ナットを挿し込みます。穴軸がずれてねじが入らない場合は角度の調節をしてください。

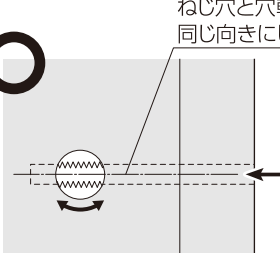


⊖ドライバーで角度を調節する。

ねじ穴との穴軸がずれている。



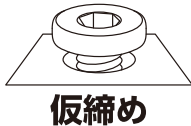
ねじ穴と穴軸を同じ向きにします。



組み立てのポイント

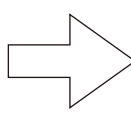
最初に全てのねじを仮締めしてから

最後に全てのねじをしっかりと締める。



仮締め

ねじを7～8割ぐらい仮締めする。



しっかりと締める

ねじをしっかりと締める。

ねじは、最初からきつく締めず、仮締めの状態で組み立てを進めてください。最初からきつく締めると、他のねじの位置が合わず、組み立てが困難になる場合があります。また、全体がゆがむ原因となりますので、最後に全てのねじをしっかりと締めてください。

1 支柱の組み立て

作業する時は、必ず横に倒して行ってください。

それぞれの支柱を両頭連結シャフトとカムロックと木ダボ(大)を使って連結します。
後ろの支柱③④⑦⑧には木ねじ(短)で金具を取り付けます。
下の支柱②④⑥⑧にはクッションシール(大・小)を貼り付けます。

左側・前

支柱①

⚠ 注意

それぞれの支柱には内側の
上の方に番号が貼ってあります。

内側

両頭
連結シャフト

支柱②

カムロック

クッション
シール(大)

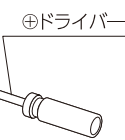
※クッションシール(大)は
(小)より厚くなっています。

左側・後

支柱③

金具

木ねじ(短)



※金具の向きを確認し、取り付け忘れのないようにしてください。

内側

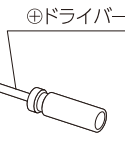
木ダボ(大)

支柱④

カムロック

金具

木ねじ(短)



※金具の向きを確認し、取り付け忘れのないようにしてください。

クッション
シール(小)

右側・前

支柱⑤

カムロック

両頭
連結シャフト

支柱⑥

カムロック

クッション
シール(大)

※クッションシール(大)は
(小)より厚くなっています。

右側・後

支柱⑦

金具

木ねじ(短)



※金具の向きを確認し、取り付け忘れのないようにしてください。

内側

両頭
連結シャフト

支柱⑧

カムロック

金具

木ねじ(短)

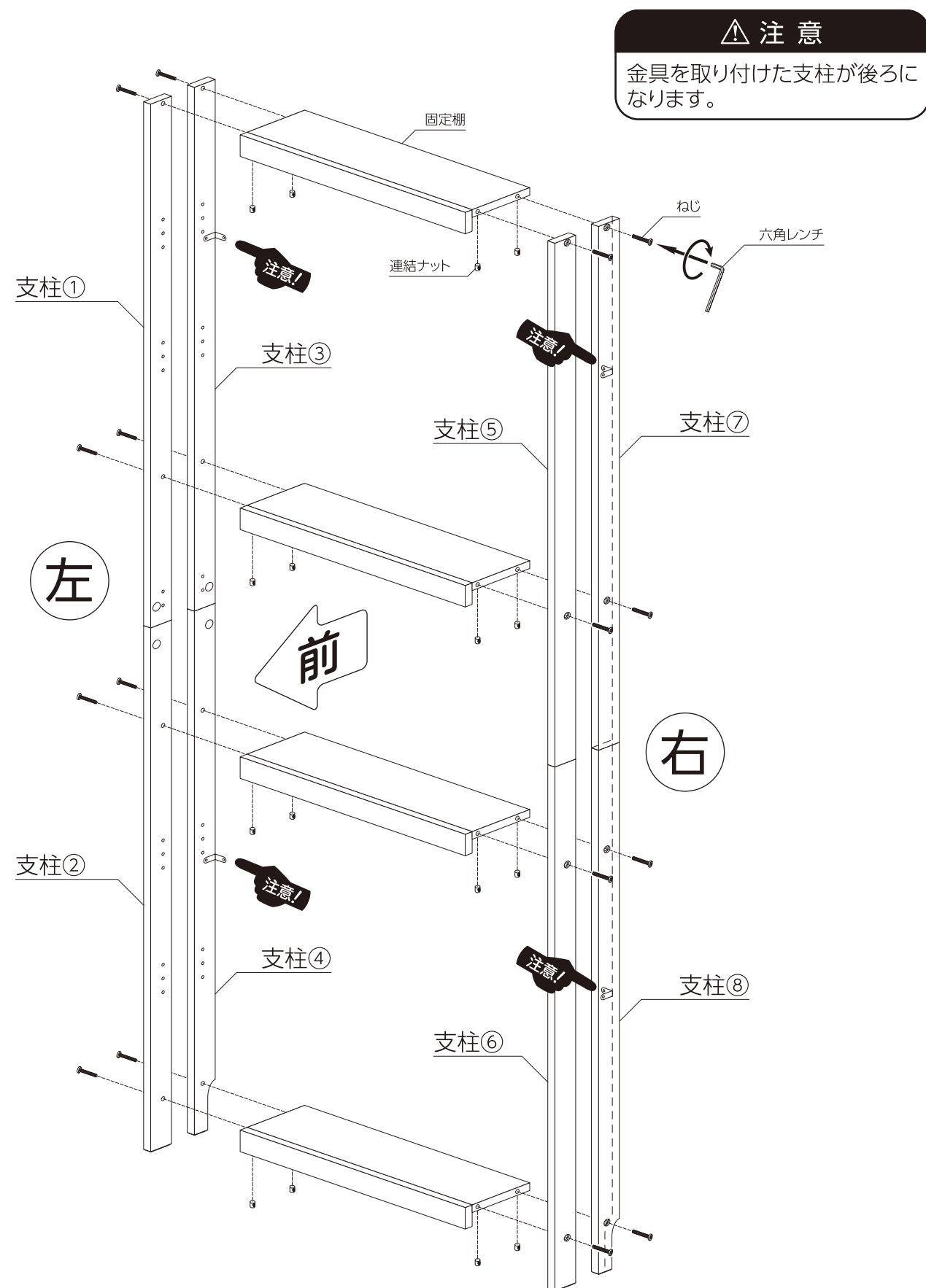


※金具の向きを確認し、取り付け忘れのないようにしてください。

クッション
シール(小)

2 固定棚の取り付け

①で組み立てたそれぞれの支柱に連結ナットとねじで固定棚を仮締めします。最後に仮締めした全てのねじをしっかりと締めます。

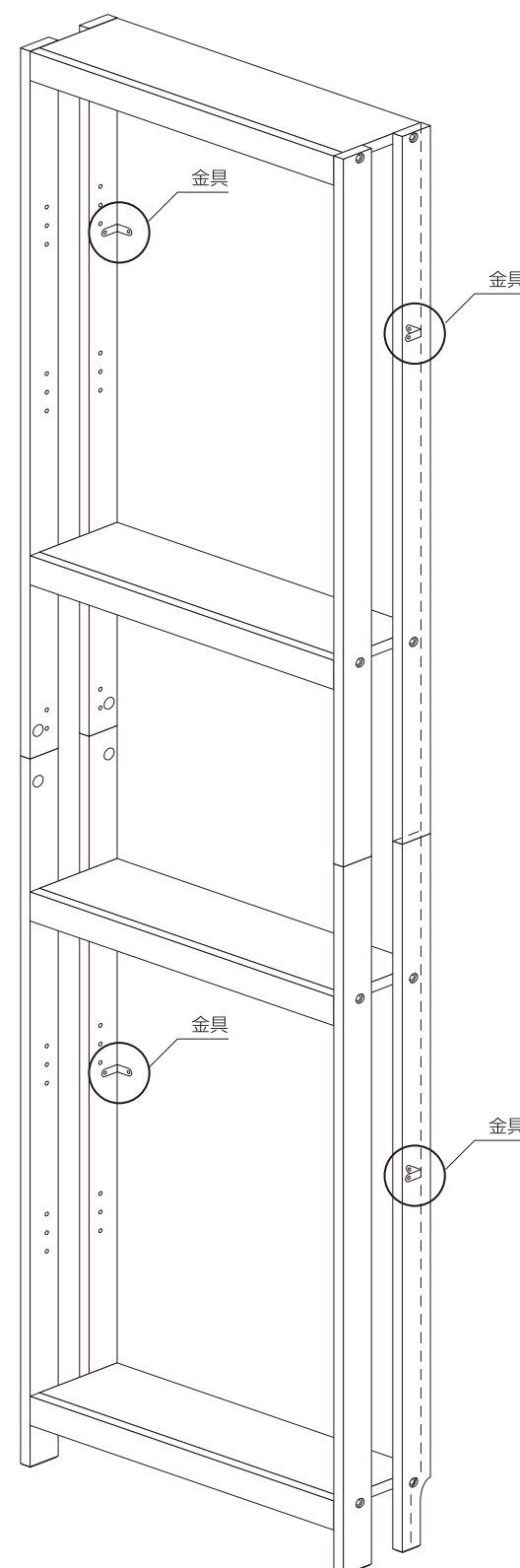


3 壁への固定

設置後、棚の水平を確認し、4ヵ所の金具で壁に固定します。

△ 注意

本体が傾いていないか、充分注意してください。



石膏ボードの壁に固定する場合

固定部品を金具に差し込み、ピンの向きを確認してハンマーで軽くたたいて押し込んでください。

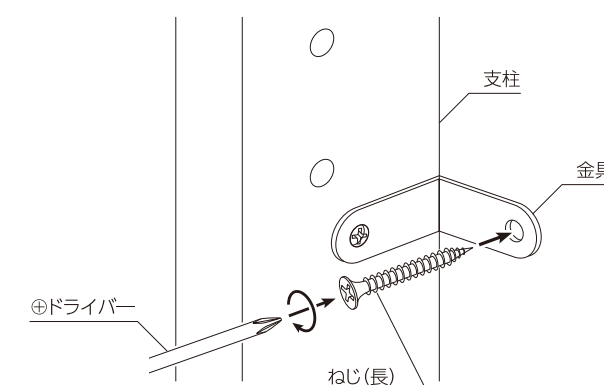


△ 注意

- ピンで手や指を刺さないように注意してください。
- ハンマーで打込む時はピンが曲がらないように注意してください。
- 抜いたピンは同じ場所に打ち込まないでください。取付け強度が不十分になり危険です。

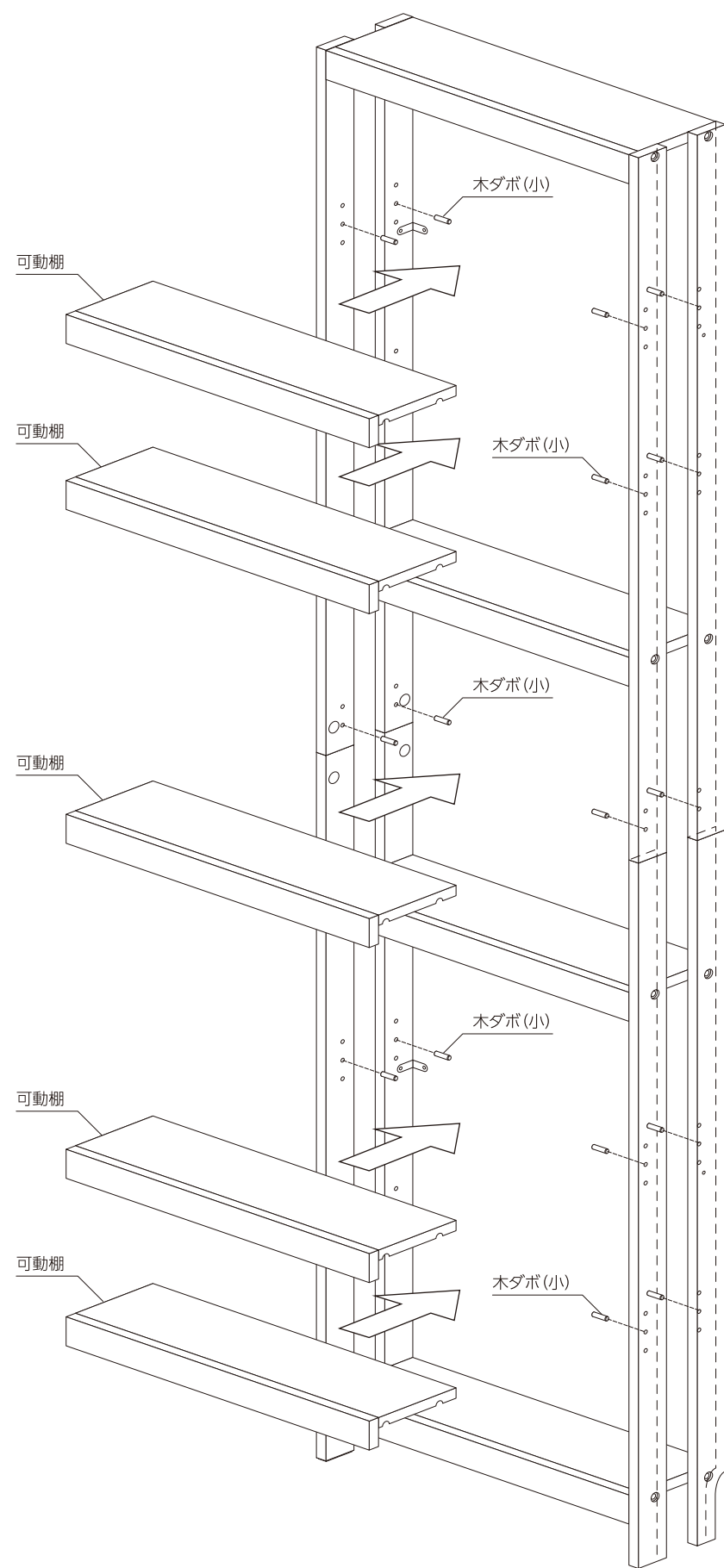
木製の壁に固定する場合

木ねじ(長)で壁に取り付けます。



4 可動棚の取り付け

それぞれの支柱に任意の高さで木ダボ(小)を取り付け、可動棚を設置します。



5 目隠しシールの貼り付け・完成

全ての組み立て作業が終了したら、もう一度取り付け箇所にゆるみがないか確認します。
ゆるみがある場合は、しっかり締め直します。
その後、カムロックには目かくしシール(大)、ねじと棚裏面の連結ナットには目かくしシール(小)を貼り、完成です。

